

PIXEL について

PIXEL: Japanese InSAR Community for crustal deformation research

古屋 正人 [1]

Masato Furuya[1]

[1] 北大院理

[1] Hokudai

<http://pixel.eri.u-tokyo.ac.jp>

PIXEL とは Palsar Interferometry Consortium to Study our Evolving Land の頭文字をとったもので、地殻変動研究のために InSAR を利用する（もしくは、しようとしている）日本国内の研究者のゆるやかな集まりである。Palsar とは宇宙航空研究開発機構 JAXA が 2006 年 1 月に打ちあげた ALOS(だいち) に搭載された合成開口レーダー (SAR) センサーであり、他国の SAR 衛星と比較して低い周波数帯の L バンド (波長 23.6cm) のマイクロ波を用いることが最大の特色で、植生透過性に優れることから、日本のような国土においても干渉合成開口レーダー (InSAR) の手法が有効に機能することが打ち上げ前から期待されていた。その一方で、日本国内の InSAR 研究者の層は欧米に比べて厚いとはいえ、もっと InSAR への敷居を低くして、国内の InSAR 研究を活発化させようという一部の研究者らによる危機感から PIXEL は始まった。具体的な活動内容としては、PALSAR データの共有 (機関毎にユーザー ID とパスワードを付与)、ソフトウェアの講習会、研究集会、メーリングリストの運営などである。正式形態としては、JAXA と全国共同利用研である東京大学地震研究所 ERI が共同研究契約を結んでおり、ERI の共同利用の一環として全国の研究者が参加している。講演では、これまでの成果、現状などについて述べる。